



最終回

感謝

平成22年から3期12年にわたり、市長として市民の信託をいただき、市政の舵取り役として魅力と活力ある「新生匝瑳」のまちづくりを掲げ、三つの基本方針である「安心・安全のまちづくり」「産業振興のまちづくり」「市民参加のまちづくり」に向け、一意専心取り組ませていただきました。

この間多くの方々にお会いし、時には膝を交え、匝瑳市発展のため、交流させていただいた時間は、私の貴重な財産であります。これまでの市民の皆様のご支援と温かいご厚情に心から感謝を申し上げます。

この12年間の中で市民の皆様とお約束いたしました「グマニフェスト」は、おおもね達成できたものと思っております。その中でも思えば初登庁の日には津波対策のため、翌日は津波対策のため、防災服で勤務したこと。そして、東日本大震災では全庁挙げての災害対応に当たったことをはじめ、子育て支援策や学校給食センターの統合・建設など。2期目には市制施行10周年記念式典の開催、そうさ記念公園の整備、そうさ観光物産センター、そうさ観光物産センター、小・中学校のエアコン設置など。3期目は房総半島台風などの災害対応と鳥インフルエンザや新型コロナウイルス感染症対策に取組む中、パークゴルフそうさの完成、東総地区クリーンセンターの建設、校舎のトイレ洋装化、GIGAスクール構想の実現などは印象に残る仕事でありました。いろいろな思いが交錯する中、やり残したことへの思いもありますが、次なるリーダーにバトンを託してまいりたいと考えております。なお、12年間風邪も引かず体調不良も無く元気に務めることができたこと、また、「市政の窓」も休むことなく掲載させていただき、市民の皆様と交流を深めることができたことは、プチ自慢の一つであります。

退任後は、一市民として「ふるさと匝瑳市」の発展のためにお役に立てることがあれば喜んでお手伝いをさせていただきますことをお約束いたします。12年間にわたるお礼のごあいさつとさせていただきます。

匝瑳市のさらなる発展と市民の皆様のご健康を祈念!!

匝瑳市長 太田安規

下富谷を歩く

「ジヨウ」の由来

匝瑳探訪

189

下富谷(中央地区)を「ジヨウ(城)」と呼ぶことを耳にしたことがあるかも知れません。今回はその起こりを紹介します。1591(天正19)年2月に下総国で検地が始まり、慶長年間(1596~1615年)まで継続して行われ、現在の字にあたる近世の村が成立しました。この時市域では、従来から使われてきた地

名をそのまま村名にしたところがほとんどでした。しかし、新たに村名が付けられたものもありました。下富谷村はその一つで、富谷村の南に位置したため付けられた村名で、それ以前は「ジヨウ」と呼ばれていたようです。

市内の地形は、国道126号線やJR総武本線をほぼ境として北部の台地と南部の低地からなり、低地には海岸線に平行して細長く伸びる砂が堆積してできた砂堆列に集落が形成されました。



下富谷の堀跡

市内南部地域が平安から鎌倉時代にかけて紀州・熊野三山神社(現在の和歌山県に所在)の荘園「匝瑳南条庄」でした。

下富谷集落のほぼ中央に熊野神社がまつられ

昨年秋、匝瑳城郭保存活用会の会員らと集落の人の案内で下富谷側の用水路と考えられたものが、外からの侵入に備え人工的に掘られたもので、集落全体を囲むようにあったことが分かりました。

1480年代と1550年ごろ二度にわたり房総・里見氏、正木氏の下総(東総地域)への侵攻があり、八日市場城などが壊滅しました。それらに備えたことが「ジヨウ」の由来となったのでしよう。

(市文化財審議会委員・依知川雅一)

関秘書課広報広聴班

☎73・0080

文芸コーナー

短歌

依知川雅一 推薦

床の間の干支のひょうたん寅吠えて

コロナ退治し千里を戻れ

飯岡の向こうに観える富士の山

あれから十年初夢の幸

白い朝ゆっくりゆっくり深呼吸

どんな日だる誰れと出逢おうか

思い出す鮭の吊るしに酢だこ樽

歳末売り出し立ちづめの列

壊れかけ私の心のなぐさめは

時と時間と見慣れた景色

白菜をまっ赤なそろいの帯でしめ

出荷待つ間に空は夕焼け

大型のスクリーン観る心地して

夜明けの空に彗星の降る

川口城司 推薦

老い妻の健やかな日に植ゑたりし

千両さには朱実の彩ふ

朱赤色のピラカンサの実びっしりと

鴨は来ず地面に積もる

俳句

高安せい子 推薦

老らくの冥加賜わる雑煮かな

三が日夕日落つごとと終わりけり

遠潮騒初春の音紡ぎるし

ふるさとと書き初め下がる長廊下

おっちゃんへと賀状届きし小学生

年男やさしい寅の兄が居て

初日記ページめくるや三十年

澄み渡る師走の空に望の月

ひなたぼこなでる相手はひぎ小僧

川柳

勝又康之 推薦

春一番花粉とコロナ二重奏

木枯しに心静めて春を待つ

散歩する足元に春つくしんぼ

春早々物価と風が舞い上がる

春風に誘われ散歩田圃道

芽ぐむ春スキップ纏れ老いを知る

春一番吹いてコロナを吹き飛ばせ

鰻焼く匂いに惹かれて成田山

加齢には勝てぬ足下つまずいた

マスク美女マスク美男の初詣

光瀬甲江子

岩井 やす

椿 和枝

大川 宣子

椎名 晴江

安藤 建子

佐々木ゆき子

伊藤 定子

野仲 妙子

佐久間美智子

土屋 秀雄

江波戸京子

中村 九藏

鶴澤 澄子

安藤 幸恵

宮崎 賢一

熱田真こと

佐藤 三久

石田 津

川口城司 推薦

力作募集中

宛先：匝瑳市秘書課広報広聴班 〒2289-2198 匝瑳市八日市場ハ793番地2
☎73-0080 FAX72-1114

図書館だより

匝瑳市八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

- 休館日…毎週月曜日 ● 祝日閉館日…11日(金)・23日(水)
- 臨時休館日(蔵書点検のため)…2日(水)～8日(火)

蔵書点検とは

図書館では毎年、蔵書点検を行っています。蔵書点検とは、店でいう「棚卸し」のことです。

一冊一冊を点検することで、「返却ミスはないか」「紛失している資料はないか」「資料が別の棚に並んでいないか」などを確認し、図書館を最適な状態に保ちます。

返却ポストをご利用ください

休館中、本・雑誌の返却は「返却ポスト」をご利用ください。

DVD・CDおよびこれらが付属された資料は、返却ポストに入れると破

損の恐れがあるため、開館時間中にカウンターへ返却してください。

雑誌などを譲ります

9日(水)から13日(日)まで、古くなった雑誌などを譲ります。図書館に利用者登録のある人が対象で、1人10冊までです。

場所…八日市場公民館市民ギャラリー
時間…9時～17時

おすすめの本

『作家と猫』

平凡社編集部／編 平凡社

今も昔も、猫は作家のパートナー。夏目漱石、谷崎潤一郎、中島らも、三谷幸喜など49人の作家によるエッセー、詩、漫画などが収録されています。猫を愛する作家たちのエピソードが詰まった、猫づくしの一冊です。

『みとりねこ』

有川ひろ／著 講談社

猫の浩太は、一家の長男・浩美と生まれたときからずっと一緒。いつもしょうゆに浸した肉球で、テーブルクロスにベタベタ。その訳とは…。猫をめぐる七つの物語を収録。

図書館ホームページはこちら
<https://www.library.sosa.chiba.jp>

